

河北新報120年フォーラム

東北の道しるべ in 福島

河北新報は創刊120年を迎えた昨年1月17日、東日本大震災の痛手から立ち上がり、新時代を切り開く決意を込めて「東北の道しるべ」を発表しました。戦後日本に価値観の転換を迫った震災を踏まえ、2050年の子どもたちに引き継ぎたい東北像を提案しました。6項目で構成する「東北の道しるべ」をさらに深掘りすべく、東北6県を巡回するフォーラムも開催しております。このたび、3月3日に開く福島フォーラムは6項目のうち、「『エネルギー自治』を確立しよう」をテーマに皆様と具体策などを考えて参りたいと思います。

とき 2018年3月3日(土)13:30~17:00(開場13:00)

ところ 大和川酒造店「昭和蔵」(喜多方市寺町4761)

○上映会 ドキュメンタリー映画「おだやかな革命」(渡辺智史監督)

○パネル討論 「『エネルギー自治』を確立しよう」

<パネリスト> 「会津電力」社長 佐藤彌右衛門 氏
「ひっぽ電力」社長 目黒 忠七 氏
ドキュメンタリー映画監督 渡辺 智史 氏

<コーディネーター>河北新報社常務取締役・編集担当 鈴木 素雄

<東北の道しるべ>

- 「東北スタンダード」を掲げよう
- 「2枚目の名刺」を持とう
- 「自然と人間の通訳者」を育てよう
- 「共創産業」を興そう
- 「エネルギー自治」を確立しよう
- 「INAKA(いなか)を世界へ」広めよう

【「エネルギー自治」を確立しよう】が目指す姿

東北の天然資源を暮らしや産業に生かすため、エネルギー自治を確立しよう。①地元風土に根差す②地元資本が主導する③地元のために使うーという3原則に基づいたエネルギー運用を打ち立てたい。豊かで多様な天然資源を生かし、エネルギー源の分散立地を目指す。

聴講無料

定員180人

【交流会のご案内】

フォーラム終了後、「昭和蔵」にて、パネリストの皆さまを交えた「交流会」を開きます。会費は3000円。聴講申し込みの際、交流会参加の有無もお知らせください。

※事前申込が必要です

①お名前②職業③住所④電話番号⑤交流会参加の有無を明記してお申し込みください。
宛先は河北新報社 電話022(211)1481 平日10時~17時
電子メール michishirube@po.kahoku.co.jp

【パネリスト】

	<p>佐藤 彌右衛門（さとう・やうえもん）氏</p> <p>1951年、喜多方市生まれ。東京農大短期醸造科卒。200年以上続く家業の造り酒屋「大和川酒造店」を継ぎ、現在会長。東京電力福島第1原発事故を受け、2013年に会津電力を設立し、社長に就任。全国ご当地エネルギー協会代表理事、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟副会長を務める。</p>
	<p>目黒 忠七（めぐろ・ちゅうしち）氏</p> <p>1952年、宮城県丸森町生まれ。宮城県伊具高卒。住商飼料畜産の丸森農場に23年間勤務。48歳で脱サラし、趣味で始めた炭焼きを本格化。丸森町筆甫地区に竹炭工房「ひっぽ」を構え、木炭や竹酢液などの生産を続ける。2016年3月ひっぽ電力社長に就任。</p>
	<p>渡辺 智史（わたなべ・さとし）氏</p> <p>1981年、鶴岡市生まれ。東北芸術工科大卒。映画製作会社勤務などを経て、2008年にドキュメンタリー映画「湯の里ひじおり～学校のある最後の1年」で監督デビュー。12年の「よみがえりのレシピ」は全国の劇場で公開され、香港国際映画祭、ハワイ国際映画祭で招待上映された。</p>

【大和川酒造店「昭和蔵」】

